

7 *Mingulay boat song*

1. この歌の説明

これは古いスコットランドの歌で、漁船の上で漁夫達がうたったものです。

Mingulay はスコットランドの西、ヘブリディーズ諸島の南端にある小さな島の名前です。昔は人が住んだことがあります。1912年に最後の一人が島を離れてからは無人島のままです。島のほぼ全域が険しい絶壁で囲まれ、海鳥の繁殖地です。大西洋に出漁していた漁夫達の船がわが家に戻る途中、このミングレイ島を通過した時、初めてわが家に近づいた事を感じるのだという。

2. 歌の日本語訳

Hill yo ho boys, let her go, boys

さあ、みんな綱を引いて船を傾げるんだ、

Bring her head round ,now all together

帰るとしようじゃないか、

Hill yo ho boys, let her go, boys

さあ、一緒に船首を反転させるとしよう、

Sailing homeward to Mingulay.

さあ、みんな綱を引いて船を傾げるんだ、
ミングレイに向けて帰航するために。

What care we 'though white the Minch is ?

ミンチ海峡は波で真っ白だがどんな注意をしたら
いいだろう？

What care we,boys for wind or weather ?

Let her go boys , every inch is

なあ、みんな風や天候は大丈夫だろうか？

Wearing homeward to Mingulay.

帰るとしようじゃないか、
ミングレイに向けて帰航するには申し分ないさ。

Wives are waiting at the harbour,

女房達が港で待っている、

Looking seaward from the heather,

ヒースの茂みから海上を見やりながら、

Pull her round boys, and we'll anchor

船の方向を変えろ、

'ere the sun sets on Mingulay

そうすりゃミングレイ島に陽が落ちる前に、
錨を打てるだろうよ。

Hill yo ho boys, let her go boys

さあ、みんな綱を引いて船を傾げるんだ、

Sailing homeward to Mingulay.

帰るとしようじゃないか、

ミングレイに向けて帰航するために。

語句の意味：① Hill yo ho = Heel your haul, ② the Minchi スカイ島とヘブリディーズ諸島の間にあるミンチ海峡の事 ③ the heather 常緑の低木で、紫、ピンク、白の小さな釣り鐘型の花を咲かせる。主にスコットランド周辺に群生する。④ wear(下手回し) 帆船を風上に向けて進める操縦法。

解説および日本語訳：宮崎多加雄